

## 【講師略歴】

1965年 広島県安芸郡府中町生まれ、1991年 日本歯科大学歯学部卒（80回）  
 1993年 日本歯科大学歯学部歯科補綴学教室第1講座助手、1997年 訪問歯  
 科診療に取り組み始める、2003年 ふれあい歯科ごとう代表。博士（歯学）



## 【役職・ラジオ・著書・雑誌】

- ・日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科臨床准教授、日本歯科大学東京短期大学歯科衛生士科講師、東京医科歯科大学・慶応義塾大学非常勤講師、新宿食支援研究会代表
- ・1997年よりラジオ番組「ドクターごとうの熱血訪問クリニック」（全国15局で放送、インターネットRadikoでも聴けます）2017年より「ドクターごとうの食べる labo ～たべらぼ～」(FM 調布)のパーソナリティーを務める。
- ・著書：「愛は自転車に乗って 歯医者とスルメと情熱と」、「訪問歯科ドクターごとう1：歯医者が家にやってくる!？」(大隅書店)、「食べることで生きること ～介護予防と口腔ケア～」(北隆館) (監修・著)、雑誌：「医療と介護 Next」(メディカ出版、連載中)ほか多数

## 【講演抄録】

歯科の役割は「口腔環境を整え、口腔機能を維持向上させること」である。一般的な歯科治療は口腔環境を整えることであり、それによって口腔機能を維持向上させることを目標としている。中でも、訪問歯科については、食べる機能の維持向上が目標となる。

口腔ケアとは口の環境を整えるだけでなく、食べる機能をも向上させることである。だからこそ食べるために口腔ケアが必要となる。そして最高の口腔ケアとは何だろうか。それは…。

われわれは東京都新宿区で地域食支援活動を目的として2009年に新宿食支援研究会を発会した。活動するにあたり、食支援の定義を作成した。「本人、家族に口から食べたいという希望がある、もしくは身体的に栄養ケアの必要がある人に対し、適切な栄養管理、経口摂取の維持、食を楽しんでもらうことを目的として、リスクマネジメントの視点を持ち、適切な支援を行うこと」。現在は23職種、160名が在籍する。

地域で口から食べることに問題のある人は在宅高齢者の約16%と推測される。新宿区内で換算すると1万人以上になる。これだけの対象者に対し、専門職のケアだけではケアはできないことは明白である。

では、どのように専門職と市民が「食べられる街づくり」を行うのか。市民、専門職も含めて、何か食に異常があればそれを見つける人（M）、適切な人につなぐ人（T）、そして結果を出す人（K）を地域に無限に作ることであり、さらに、専門職は社会教育として食の大切さを社会に広めていくこと（H）が求められる。「見つける、つなぐ、結果を出す、そして広める」（MTK&H®）こそが最期まで口から食べられる街づくりである。

地域食支援の担い手

※関与 深 ■ ■ ■ 浅

	医師	看護師	薬剤師	歯科医師	歯科衛生士	管理栄養士	ST	PT	OT	ケアマネ	ヘルパー	福祉用具	配食
全身の管理	深	深	深							浅			
栄養管理	浅	浅	浅	浅	浅	深							
口腔環境整備 (義歯製作、調整など)				深	浅								
口腔ケア		浅		深	深	浅					浅		
摂食、嚥下リハビリ	浅	浅		深	深		深						
食事形態の調整				浅	浅	深	深			浅			
食事作り						浅				浅	深		深
食事姿勢の調整		浅		浅	浅	深	深	深				深	深
食事介助						浅				浅	深		
食事環境調整						深	浅	深	深	深	深	深	